

政策番号 政策名

112 すべてのひとがいきいきと活動する

政策の方向

子どもから高齢者まですべての市民がいきいきとくらするまち、とくに高齢者や障害のあるひとが、住み慣れた地域社会のなかで、積極的に社会参加ができる場所や機会に恵まれ、多くのひとたちとふれあいながら社会の一員としての生きがいをもって活躍できるまちの実現をめざす。

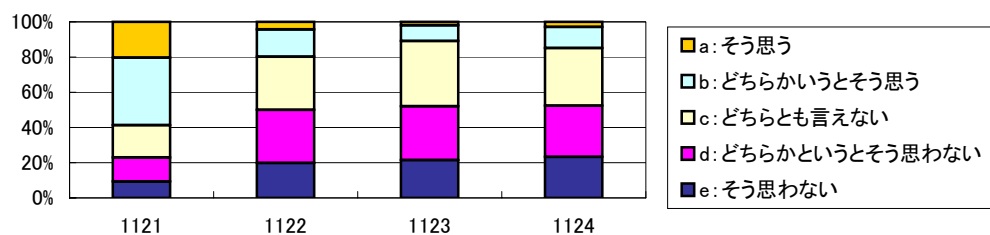
政策の評価

1 政策の評価に用いる客観指標の最新値と評価

施策番号	客観指標名	18		19		20	
		数値	評価	数値	評価	数値	評価
1121	完了検査済証の交付率 (%)	57.0	c	63.7	b	78.7	b
1121	実体違反建築物件数 (件)	176	d	152	c	111	a
1122	障害者社会参加促進事業参加者数 (人)	8,365	e	8,972	d	9,447	b
1122	老人福祉センターの利用者数 (人)	510,952	a	504,552	b	536,183	a
1123	障害のあるひとの通所授産施設等の施設数 (人分)	1,290	a	1,360	a	1,390	c
1123	シルバー人材センターにおける就業延べ人員 (人)	348,006	b	377,863	d	368,237	e
1124	労働者金融対策 (融資制度) 件数 (件)	159	d	158	d	342	a
1124	京都労働学校入学者数 (人)	1,386	c	1,495	b	1,526	b
客観指標総合評価			c		c		b

2 政策を構成する施策に対する市民生活実感評価

施策番号	設問	評価		
		18	19	20
1121	今住んでいる住宅や周りの環境には満足している。	c	b	b
1122	高齢者や障害のあるひとが社会参加できる機会が十分ある。	d	d	d
1123	高齢者や障害のあるひとの働く場が確保されている。	d	d	d
1124	だれもがいきいきと働ける場を得る機会がある。	d	d	d
市民生活実感総合評価		d	d	d



### 3 総合評価（市民生活実感総合評価＋客観指標総合評価）

<b>C</b>	客観指標については、全8項目のうちシルバー人材センターにおける就業延べ人員がe評価になるなど2指標が下がったが、労働者金融対策（融資制度）件数が大幅に増加するなど、3項目がa評価となり、全体として昨年度を上回って、良い状況である。市民生活実感については、全4項目のうち、就労の場の確保に関する3項目において引き続きd評価となり、悪い状況である。 客観指標評価及び市民生活実感評価を総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。	18年度	C
		19年度	C

### 4 政策の重要度（27政策における市民の重要度）

住環境	18年度		19年度		20年度	
	順位	%	順位	%	順位	%
	10	19.7%	10	21.9%	9	20.7%

しごと	18年度		19年度		20年度	
	順位	%	順位	%	順位	%
	6	31.4%	6	26.0%	6	28.7%

### 5 原因分析・今後の方向性

総合評価は昨年度に引き続きC評価となった。  
 施策の評価については、構成する4施策のうち、高齢者や障害のあるひとの社会参加の機会提供については、昨年度から1ランク上がってB評価となっている。  
 これは、障害のあるひとの社会参加の場である「こころのふれあい交流サロンの設置数」の増加や「障害者社会参加促進事業参加者数」の増加により、当該施策の客観指標総合評価がcからa評価となったことによるものである。一方、市民生活実感評価においては、高齢者や障害のあるひとをはじめとした就労等の社会参加に関する施策は、いずれも依然としてd評価と低い状況にある。  
 労働行政に関する権限の大部分が国及び府にあり本市の取組だけでは限界があるが、国、府をはじめ、多様な団体等との適切な役割分担と連携を図りながら、退職期を迎えた団塊の世代を含めた高齢者や障害のあるひとなど、対象者ごとの生活実態やニーズが多様化している状況を踏まえた事業形態や内容の工夫を行うなど、より一層の施策推進を図る必要がある。

### （参考）この政策を実現するための施策とその総合評価

施策番号	施策名 施策概要	評価結果		
		18	19	20
1121	だれもがずっとくらし続けたくなるすまい・まちづくり	C	B	B
	まちや住宅の安全性・地域性・歴史性等に配慮しながら、市民、事業者等との協働により、良質な住宅、住環境を整備し、多様な世代が共生するまちを実現する。			
1122	高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる機会の提供	B	C	B
	福祉施設やスポーツ施設を整備し、ボランティア活動を支援するとともに、スポーツ活動の普及・ITなどの活用により、高齢者や障害のあるひとが積極的に社会参加できる社会を実現する。			
1123	高齢者や障害のあるひとの能力向上や働く場の確保	C	C	C
	高齢者や障害のあるひとの能力向上を図り、就業の場の確保に努める。			
1124	だれもがいきいきと働けるまちづくり	C	C	C
	勤労者のニーズに合わせた労働に関する情報の提供や学習機会の提供などを通じ、勤労者の福祉の向上を図り、誰もがいきいきと働けるよう支援を行う。			